



Title	プレダトリージャーナル判定リストの実態調査
Author(s)	井出, 和希; 林, 和弘; 小柴, 等
Citation	調査資料. 2023, 326, p. 1-27
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/90781">https://hdl.handle.net/11094/90781</a>
rights	This article is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

調査資料-326

## プレダトリージャーナル判定リストの実態調査

2023 年 3 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所

データ解析政策研究室

井出 和希 林 和弘 小柴 等

**【調査研究体制】**

井出 和希

文部科学省科学技術・学術政策研究所  
データ解析政策研究室・客員研究官

林 和 弘

文部科学省科学技術・学術政策研究所  
データ解析政策研究室・室長

小柴 等

文部科学省科学技術・学術政策研究所  
データ解析政策研究室・主任研究官

**【Authors】**

IDE Kazuki

Affiliated Fellow, Research-Unit for Data Application,  
National Institute of Science and Technology Policy  
(NISTEP), MEXT

HAYASHI Kazuhiro

Director, Research-Unit for Data Application, National  
Institute of Science and Technology Policy (NISTEP),  
MEXT

KOHISBA Hitoshi

Senior Research Fellow, Research-Unit for Data  
Application, National Institute of Science and  
Technology Policy (NISTEP), MEXT

本報告書の引用を行う際には、以下を参考に出典を明記願います。

Please specify reference as the following example when citing this NISTEP  
RESEARCH MATERIAL.

井出和希, 林和弘, 小柴等, “プレダトリージャーナル判定リストの実態調査”, NISTEP RESEARCH MATERIAL, No.326, 文部科学省科学技術・学術政策研究所.

DOI: <https://doi.org/10.15108/rm326>

IDE Kazuki, HAYASHI Kazuhiro, KOSHIBA Hitoshi, “Fact-finding survey of predatory journal list,” NISTEP RESEARCH MATERIAL, No.326, National Institute of Science and Technology Policy, Tokyo.

DOI: <https://doi.org/10.15108/rm326>

# プレダトリージャーナル判定リストの実態調査

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 データ解析政策研究室

## 要旨

本稿では近年問題となっているプレダトリージャーナル（悪徳雑誌、粗悪学術誌、ハゲタカジャーナルとも称される）について、分布を分析すると共に、これが一般にどのような理由でプレダトリーであることが疑われると判定されているかについて、商用のプレダトリージャーナルデータベースを用いて調査した。

結果として、1. 出版社とジャーナルの数はいわゆるべき分布に相当するような形を描いており、多数のジャーナルを有するごく少数の出版社と 1 誌から 10 誌程度しか有さない多数の出版社があること、2. ジャーナルはその性質からして多く（約 1.7 万誌のうち約 98%）がオープンアクセスであること、3. 判定基準のうちトップ 3 は、「デジタル保存のためのポリシーがない（全誌のうち 72% が該当）」、「論文が掲載されていない、またはアーカイブに号や論文がない（52% が該当）」、「ジャーナルのウェブサイトに査読方針が明記されていない（45% が該当）」であること、4. ジャーナルは特定分野に集中しているわけではなく多くの分野に広がっていること、などが分かった。他方で、商用のデータベースであっても、分野の区分け粒度には一貫性が見られず、誤字脱字も多く、ジャーナル毎の該当する判定基準も同じものが複数回記載されているなど、外形的な面に限定しても杜撰さがみられた。

プレダトリージャーナルは定義の難しい概念であり、プレダトリーと疑われるジャーナルをリスト化し、分析したレポートをデータベースとして集約して商用で提供している企業においても、その評価、判定に苦労している様子がうかがえる。また、競合が存在しない環境もあいまって、データベースの品質を確認することについても難しいことが確認された。

研究評価において学術論文が重視される状況にあって、プレダトリージャーナルが与える影響は大きく、判別のための観点は参考になるものの、評価・判定の透明性を含め今後のことより一層の充実が望まれる。

## Fact-finding survey of predatory journal list

Research-Unit for Data Application, National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT

### ABSTRACT

In recent years, predatory journals have become a serious problem. In this paper, we analyze the distribution of predatory journals in the only existing commercial database of such journals, Predatory Reports, to investigate why these journals were suspected of being predatory by the database publisher. The results showed the following. 1) The number of publishers and journals followed a power distribution, with a very small number of publishers publishing a large number of journals and a large number of publishers publishing only one to ten journals. 2) The vast majority of journals are open access (about 98% of around 17,000 journals). 3) Among the criteria defining what constitutes a predatory journal, the top three were "no policy for digital preservation" (72% of all journals), "no article published or no issue or article in the archive" (52%), and "no peer review policy clearly stated on the journal's website" (45%). Predatory journals were not concentrated in a specific field but were spread across many.

Focusing on the database itself, we found that it had a variety of weaknesses of its own: there was no consistency in granularity of classification by discipline; there were many typographical errors and omissions in the names of disciplines, etc.; and for individual journals, the results for a single criterion were listed repeatedly. Furthermore, our view that the concept of predatory journal is difficult define was affirmed by this study, as even the publisher of the database seemed to have difficulty deciding on what basis the journals should be suspected of being predatory. In addition, it was difficult to confirm the overall quality of the database, as there is no competitor database to compare it with.

As academic papers are strongly emphasized in research evaluations, the influence of predatory journals is significant, and therefore a greater understanding of their characteristics is urgently needed. While the criteria used by the Predatory Reports database to identify such journals are helpful to a certain extent, further enhancement of the database, including transparency in evaluation and judgment, is required.

# 目次

1	はじめに	1
2	要件	2
2.1	データ	2
	対象	2
	内容	2
2.2	関連研究	2
3	結果	3
3.1	収載ジャーナルの基本属性	3
3.2	判定基準	6
3.2.1	留意点	8
4	まとめ	19
4.1	留意事項等	19
	参考文献	20
	Acknowledgement	21
	付録 A 判定理由の分析	22
A.1	決定力	22
A.1.1	留意事項	23
A.2	共起関係	27

## 図目次

1	出版社あたりのジャーナル数の分布	4
2	判定における違反項目 (Violation) の入力ミス例	9
3	決定力の考え方	22

## 表目次

1	Open Access (OA) ジャーナルの数・割合 . . . . .	3
2	分野別ジャーナルの数・割合 (5誌以上) . . . . .	3
3	ジャーナルの刊行開始年分布 . . . . .	4
4	出版社あたりのジャーナル数の分布 . . . . .	5
5	判定基準のバージョンごとの数・割合 . . . . .	6
6	判定実施年の分布 . . . . .	6
7	判定実施年と判定基準の分布 . . . . .	7
8	判定基準ごとの違反件数 (v1.0, 1/3) . . . . .	10
9	判定基準ごとの違反件数 (v1.0, 2/3) . . . . .	11
10	判定基準ごとの違反件数 (v1.0, 3/3) . . . . .	12
11	判定基準ごとの違反件数 (v1.1, 1/4) . . . . .	13
12	判定基準ごとの違反件数 (v1.1, 2/4) . . . . .	14
13	判定基準ごとの違反件数 (v1.1, 3/4) . . . . .	15
14	判定基準ごとの違反件数 (v1.1, 4/4) . . . . .	16
15	1誌の判定における違反項目 (Violation) 件数の分布 . . . . .	17
16	1項目の違反でプレダトリーキー疑いと判定されている場合の理由内訳 . . . . .	17
17	判定における違反項目 (Violation) 数の分布 (10% 以上の項目のみ抜粋) . . . . .	18
18	判定基準ごとの違反件数と決定力 (v1.1, 1/4) . . . . .	23
19	判定基準ごとの違反件数と決定力 (v1.1, 2/4) . . . . .	24
20	判定基準ごとの違反件数と決定力 (v1.1, 3/4) . . . . .	25
21	判定基準ごとの違反件数と決定力 (v1.1, 4/4) . . . . .	26
22	判定理由の共起分析 . . . . .	27

# 1 はじめに

本稿では近年問題となっているプレダトリージャーナル（悪徳雑誌、粗悪学術誌、ハゲタカジャーナルとも称される）[Ide21]について、その分布と共に、これが一般にどのような理由でプレダトリーキーと判定されているかについて、商用のプレダトリージャーナルに関するデータベースを用い、調査した結果を示す。

## 2 要件

### 2.1 データ

■対象 米 Cabell Publishing 社の提供する「Predatory Reports」を対象に分析を行った。

Predatory Reports は、2022 年 12 月現在において唯一商用のプレダトリージャーナルに関するリスト形式のデータベースであり [Bisaccio18]、後述の通り約 1.7 万誌のデータを収載している。

個別のジャーナルにはそれぞれ、出版社名や分野、発行開始年、違反項目（Violation）などが記載されており<sup>1)</sup>、なぜプレダトリージャーナルであると疑われるかを細かく検討できるようになっている。

■内容 データは適時更新されているが、2022 年 12 月 8 日 18 時（日本時間）の時点では 16,829 件のデータレコードが存在した。今回は 2022 年 11 月 5 日から 12 月 8 日までの約 1 ヶ月をかけてデータを収集し、最終的に 2022 年 12 月 8 日 18 時（日本時間）の時点で収録されている 16,829 件全件を取得し、分析の対象とした<sup>2)</sup>。

### 2.2 関連研究

プレダトリージャーナルに関する商用のデータベースは現状 1 件しか存在しないことから、本稿と同じ対象について言及・分析した論文はすでに存在し、特に Dony らの研究 [Dony20] は本稿と類似する内容である。彼らは他の Open Access(OA) ジャーナルリストをベースに、同リストに収載された約 1 万誌分を調査・収集し、OA ジャーナルリストの情報との比較等を通じてその質を論じている。結果部分では、（本稿でも後述するとおり）そもそも判定における違反項目（Violation）に重複記載があったり、ジャーナルそのものに重複登録があったりするなど、基本的な瑕疵の指摘に始まり、内容面でも、収載データのうち約 3 千件は論文が 1 件も掲載されていないジャーナルであることや、プレダトリー疑いとしての判定方法が厳密さを欠いていると考えられること、などを指摘している。

Dony らの研究と比較した場合、収載されている全データを対象に調査していること、その結果 OA か否かの割合や具体的な判定における違反項目（Violation）ごとの数など、分析レポート上の各要素についての分布を示していること、などが本稿にのみ存在する要素である。また、同一ジャーナルの重複登録と思われる箇所は存在するが、Dony らの報告 [Dony20] から 2 年以上経過し、データの削除・追加も進んだ結果、彼らが論文中で指摘していたジャーナルの一部が現状のレポートには見当たらなくなっていたり、1 誌当たりの判定基準としての違反項目（Violation）数の分布にも変化が見られており、その点でも本稿に価値がある。

他方、他のリストとの比較を行っている部分、そもそもの判定基準の妥当性について論じている部分などは本稿に存在しない要素である。

<sup>1)</sup> 2022 年 11 月中旬までは出版誌の所在国についても記載する項目があったが、2022 年 12 月の時点ではこれらの項目は消失している。

<sup>2)</sup> なお、データ中には出版社名が不明もしくは同じで、ジャーナル名も同じというデータが 3 件存在する。基本的には先行研究 [Dony20] の指摘通り違反項目（Violation）の数が違うだけに見えるが、ジャーナルの刊行開始年に違いが見られるものもある。

### 3 結果

#### 3.1 収載ジャーナルの基本属性

表 1: Open Access (OA) ジャーナルの数・割合

Type	cnt	pct
Open access	16,475	97.9%
Non-OA	354	2.1%

データベースに収載されたジャーナルのうち、Open Access (OA) との判定があるものと、それ以外のものの割合を表 1 に示す。

仮にプレダトリージャーナルは内容が粗悪である、すなわち論文の質が低い、学術的な価値が低いとした場合、購読する側に金銭支払いの価値は生じにくい。また、購読者数が少ないことは引用のさらにくさにも繋がるため、投稿者側にとって魅力が低い。また、プレダトリージャーナルであることが疑われるかどうかの判定を行う上でも、必要な情報が課金エリアに置かれていると確認が困難と考えられる。こうした傾向もあってか、データベースに収載されているジャーナルのうち、約 98% が OA 誌という結果になっている。

表 2: 分野別ジャーナルの数・割合 (5 誌以上)

#	Discipline	cnt	pct
1	Medicine	6,192	36.8%
2	Biological Science	3,625	21.5%
3	Engineering	2,262	13.4%
4	Humanities	1,326	7.9%
5	Computer Science	1,279	7.6%
6	Chemistry	1,275	7.6%
7	Management	978	5.8%
8	Economics	673	4.0%
9	Finance	672	4.0%
10	Physics	636	3.8%
11	Mathematics	464	2.8%
12	Education	445	2.6%
13	Multidisciplinary	423	2.5%

#	Discipline	cnt	pct
14	Psychology	342	2.0%
15	Geology	248	1.5%
16	Oceanography	234	1.4%
17	Accounting	156	0.9%
18	Marketing	148	0.9%
19	Nursing	141	0.8%
20	Health Administration	117	0.7%
21	Astronomy	106	0.6%
22	Psychiatry	101	0.6%
23	Library Science	29	0.2%
24	Methods	6	0.0%
25	Educational Curriculum	6	0.0%
26	Business Information Systems	5	0.0%

分野の分布について、表 2 に示す。

なお、分野については 1 誌に対して 0 個以上複数の分野が割り付けられる仕様となっている。ただし、誤字、脱字と思われるものが多く、表記は一貫しない。例えば、“Computer Science” と “Computer Sciences” が混在しており、“Engineering”, “Engineering”, “Multidisciplinary” などの表記も確認できる。複数分野を割り付ける際にも “,”, “&”, “And” など複数パターンが見受けられる。ここでは、“Sciences” は “Science” に統一する。明らかな誤記については修正する。“,”, “&”, “And” はすべて複数分野を区切っているものとして、当該箇所で分割する。などの処理を行い、整形した上で分析を行っている。その上で 97 種類の異なる分野が存在する。

表2は5件以上登場するもの、上位26位までを対象に示した。

医学(Medicine)に割り付けられているものが最も多く、全体の37%を占め、生物系(Biological Science)の22%が続く。この他、計算機科学(Computer Science)や化学(Chemistry)、経済学(Economics)、数学(Mathematics)などが見られており、比率にはやや差があるものの様々な分野のジャーナルが収載されていることが確認できる。

表3: ジャーナルの刊行開始年分布

Year	cnt	pct	Year	cnt	pct
None	4,018	23.9%	2011	985	5.9%
<=1999	66	0.4%	2012	786	4.7%
2000	16	0.1%	2013	2,074	12.3%
2001	20	0.1%	2014	890	5.3%
2002	19	0.1%	2015	2,248	13.4%
2003	18	0.1%	2016	1,199	7.1%
2004	22	0.1%	2017	1,120	6.7%
2005	26	0.2%	2018	1,167	6.9%
2006	33	0.2%	2019	780	4.6%
2007	57	0.3%	2020	490	2.9%
2008	56	0.3%	2021	189	1.1%
2009	184	1.1%	2022	58	0.3%
2010	307	1.8%	2024	1	0.0%

次に、これらジャーナルの刊行開始年について、表3にまとめた。年の記載がないものも全体の1/4見られるが、2013年から2018年頃に刊行が開始されたものが特に多いように見受けられる。

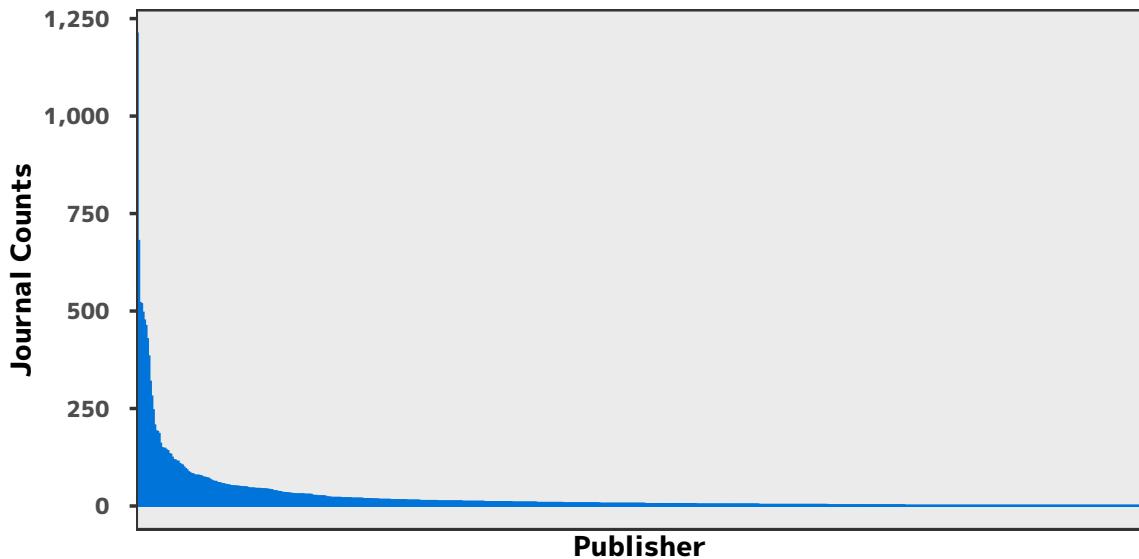


図1: 出版社あたりのジャーナル数の分布

出版社単位で、データベース中にジャーナルが何誌搭載されているかをまとめ、図1、表4に示した。

表 4: 出版社あたりのジャーナル数の分布

Journal Counts	Simple		Accumulation	
	Cnt	pct	Cnt	pct
1	163	23.7%	163	23.7%
2	53	7.7%	216	31.3%
3	47	6.8%	263	38.2%
4	43	6.2%	306	44.4%
5	35	5.1%	341	49.5%
6	31	4.5%	372	54.0%
7	25	3.6%	397	57.6%
8	18	2.6%	415	60.2%
9	17	2.5%	432	62.7%
10	19	2.8%	451	65.5%
20	98	14.2%	549	79.7%
40	47	6.8%	596	86.5%
80	54	7.8%	650	94.3%
160	23	3.3%	673	97.7%
320	7	1.0%	680	98.7%
640	7	1.0%	687	99.7%
1280	2	0.3%	689	100.0%

図 1 の横軸は出版社をジャーナル数で降順に並べており分類尺度である。表 4 のカウント対象は出版社である。なお出版社不明の 141 誌について「不明」という 1 社に属すると見なして計上している。

図 1 及び表 4 を見ると、1 社で 1200 誌以上のジャーナルを有する出版社が存在する一方、半数以上(約 66%) の出版社は 10 誌未満のジャーナルを有する程度と言え、べき分布や対数正規分布のような形状を示している。

### 3.2 判定基準

表 5: 判定基準のバージョンごとの数・割合

Criteria	cnt	pct
v1.0	10,768	64.0%
v1.1	6,061	36.0%

対象サービスの判定基準には v1.0 と 2019 年 3 月発効の v1.1 の 2 系統があり、v1.0 は 64、v1.1 には 74 の基準が含まれるとされる<sup>3)</sup>。両者には共通するものも多いが相違も存在する。今回の収集対象について、それぞれどちらの基準で判定したかについてまとめたものを、表 5 に示す。

表 6: 判定実施年の分布

Year	cnt	pct
None	99	0.6%
2016	1,799	10.7%
2017	6,027	35.8%
2018	2,381	14.1%
2019	2,390	14.2%
2020	1,327	7.9%
2021	1,533	9.1%
2022	1,273	7.6%

\* 2022年は12月8日時点まで

データベース収載ジャーナルのプレダトリ一疑いとしての判定がいつ行われたかについては、Review Date で確認できる。年単位で集計した結果を表 6 に示す。

この判定基準と、判定日を合わせた分布を表 7 に示した。

もともとサービス提供が 2017 年、約 4,000 誌からスタートしている<sup>4)</sup> ことに起因して 2017 年の判定（厳密には収載）数が特に多い。この数年はやや数が減り千数百件程度で推移しているが、それでも年間 1,000 誌超のジャーナルが追加収載されている点は興味深い。

また、2019 年以前にも v1.1 基準で判定したものがあり、2021 年にも 2 件ではあるが v1.0 基準で判

<sup>3)</sup> v1.0 <https://blog.cabells.com/2019/03/08/v1-0/>(Last access: 2022.12.10),  
v1.1 <https://www2.cabells.com/predatory-criteria>(Last access: 2022.12.10),  
<https://blog.cabells.com/2019/03/20/predatoryreport-criteria-v1-1/>(Last access: 2022.12.10)  
ただし、文献 [Bisaccio18] では CABELLS の関係者である著者が v1.0 について 65 項目と述べている。

<sup>4)</sup> <https://blog.cabells.com/category/predatory-reports/>(Last access: 2022.12.10)

表 7: 判定実施年と判定基準の分布

Year	criteria	cnt	pct
None	v1.0	99	0.6%
2016	v1.0	1,784	10.6%
2016	v1.1	15	0.1%
2017	v1.0	5,862	34.8%
2017	v1.1	165	1.0%
2018	v1.0	2,379	14.1%
2018	v1.1	2	0.0%
2019	v1.0	642	3.8%
2019	v1.1	1,748	10.4%
2020	v1.1	1,327	7.9%
2021	v1.0	2	0.0%
2021	v1.1	1,531	9.1%
2022	v1.1	1,273	7.6%

\* 2022年は12月8日時点まで

定したものがあるなど、整合性にやや疑問を生じる結果となっている<sup>5)</sup>。

次に、v1.0, v1.1 のそれぞれについて、具体的にどの基準に該当するものが何件あったかについてまとめたものを表 8 から表 14 に示す。なお、後述するとおり判定における違反項目 (Violation) は 1 ジャーナルに複数付与することができ、最大 17 件が割り付けられている。各判定理由は特定のスコアをもっているとされ、この合計スコアが 100 を越えると収載される [Bisaccio18]。

またこれら判定における違反項目 (Violation) の共起に関する観点から、1 誌辺り何件程度の違反項目が付与されるか、表 15 に示した。これを見ると、少ないものは 1 件の違反項目でプレダトリー疑いと判定される一方、17 件の違反項目が付与されたものも存在する。最頻値は 7 件で全体の 1/4 程度に 7 つの理由が付与されている。ボリュームゾーンは概ね 4 件から 7 件と言える。

1 件の違反項目で収載判定がなされているもの 50 件について、判定基準の違いを考慮せずに判定理由を調査した内訳を表 16 に示す。1 件の違反項目でプレダトリー疑いとして判定されているものにはハイジャックされたジャーナルであることを根拠とするものが多いことが分かる<sup>6)</sup>。

判定基準には共通するものも多いため、おなじく判定基準の違いを一旦考慮せず判定理由を調査した内訳を表 17 に示す。これを見ると、理由としては「デジタル保存のためのポリシーがない (No policies for digital preservation.)」という項目が最も多く登場し、実に 72% のジャーナルがこれに相当している。続いて、「論文が掲載されていない、またはアーカイブに号や論文がない (No articles are published or the archives are missing issues and/or articles.)」が 52%，「ジャーナルのウェブサイトに査

5) この点はすでに文献 [Dony20] でも指摘されている。

6) ただし、ハイジャックされたジャーナルに該当するものは 113 件ある。なお、Dony らが指摘するように [Dony20] これら 5 つの指標が 1 件の違反項目だけで収載判定する力を有していると考えると、評価の一貫性には疑問が生じる。

読方針が明記されていない (The journal's website does not have a clearly stated peer review policy.)」が 45% のジャーナルに登場する。登場する割合が高いため、これらは共起する場合も多い。

### 3.2.1 留意点

これらのデータからは、「判定基準として対象サービスの Web サイト上で示されている項目」と、「実際に分析レポート上で示されている・出現する項目」の間に相違があることも確認できる。

例えば、v1.0 準拠のものについて、データベースには v1.0 準拠では評価し「Fees: Surprise fees. (料金設定が異常)」が判定における違反項目 (Violation) に該当すると報告しているもの、おなじく「Peer Review: Evident data showing that the editor/review board members do not possess academic expertise to reasonably qualify them to be publication gatekeepers in the journal's field. (編集者や審査委員が、そのジャーナル分野の出版ゲートキーパーとして合理的に適格な学術的専門知識を有していないことを示す明白なデータがある場合)」が判定における違反項目 (Violation) に該当すると報告しているもの、があるが、v1.0 の Web サイト上での説明<sup>7)</sup> にこの項目は存在しない。この項目を加えると、v1.0 の判定基準はサイト上の説明から 2 件増えて 66 件になる。また、説明にある「Peer Review: Gender bias on the journal's editorial board. (編集委員の構成にジェンダーバイアスがある)」に該当すると報告されたデータは、今回の収集範囲では見つかっていない。この他、細かいミスとして 2022 年 12 月 10 日現在において、リスト上の「Criteria v1.0」のリンク先が v1.1 に関するブログ記事となっており、リンク先を間違えている。また、文言がサイト上の説明と異なり、(意味的にはほぼ等価な) v1.1 準拠の文言になっているものが散見される。例えば、Web サイト上では「For a journal that claims to be 'international,' little geographical diversity of board members.」となっているところ、データベース上では「Little geographical diversity of board members and the journal claims to be International.」となっている。こうしたケースが複数存在する。ただし、この点については意味的な差異はないので大きな問題は生じない<sup>8)</sup>。

他方、v1.1 準拠のものについては、少なくともサイトに説明のないものは観測されていない。なお、「Business Practices: No subscribers / nobody uses the journal. (購読者がいない／誰もジャーナルを利用していない)」「Integrity: Information received from the journal does not match the journal's website. (ジャーナルから受け取った情報が、そのジャーナルのウェブサイトと一致しない)」「Integrity: The journal is associated with a conference that has been identified as predatory. (プレダトリーであると指摘されている学術集会と関連している)」の 3 項目に該当すると報告されたデータは、今回の収集範囲では見つかっていない。

別の観点からの問題としては、すでに先行研究において Dony らも別途指摘しているとおり [Dony20] 1 誌に同じ判定理由が複数回記載されているものも一定数存在する。典型的な例を図 2 に示した。これらは入力ミスと考えられるため、本稿では前掲の表 8 から表 14 をはじめ、判定における違反項目 (Violation) 数に関連する箇所では、重複を排除するよう別途カウントし直したものを探用した。

<sup>7)</sup> <https://blog.cabells.com/2019/03/08/v1-0/> (Last access: 2022.12.10)

<sup>8)</sup> v1.0, 1.1 で共通する要素の合算分析がしやすいという面ではむしろ好ましいともいえる。

	<a href="#"> Open access</a>	<a href="#"> Reviewed Nov 9, 2018</a>	<a href="#"><u>Criteria v1.0</u></a>
<hr/>			
<b>About</b>			
<b>Biological Sciences</b>		<b>2013</b>	
Disciplines		Launch date	
<hr/>			
Peer Review			
<ul style="list-style-type: none"><li>• No editor or editorial board listed on the journal's website at all.</li><li>• The journal's website does not have a clearly stated peer review policy.</li><li>• No editor or editorial board listed on the journal's website at all.</li><li>• The journal's website does not have a clearly stated peer review policy.</li><li>• No editor or editorial board listed on the journal's website at all.</li><li>• The journal's website does not have a clearly stated peer review policy.</li></ul>			
Publication Practices			
<ul style="list-style-type: none"><li>• No articles are published or the archives are missing issues and/or articles.</li><li>• No articles are published or the archives are missing issues and/or articles.</li><li>• No articles are published or the archives are missing issues and/or articles.</li></ul>			
<hr/>			
<p><b>Have an update on a predatory journal?</b></p>			

図 2: 判定における違反項目 (Violation) の入力ミス例

表8: 判定基準ごとの違反件数 (v1.0, 1/3)

#	Kind	Description	Cnt	pct
1	Access & Copyright	No policies for digital preservation. ( デジタル保存のためのポリシーがない )	9,262	86.0%
2	Access & Copyright	No way to access articles (no information on open access or how to subscribe). ( 論文にアクセスする方法がない (オープンアクセスや購読方法に関する情報がない) )	182	1.7%
3	Access & Copyright	States the journal is completely open access but not all articles are openly available. ( ジャーナルは完全にオープンアクセスであると述べているが、すべての論文がオープンアクセスであるとは限らない )	463	4.3%
4	Access & Copyright	The journal has a poorly written copyright policy and/or transfer form that does not actually transfer copyright. ( 著作権に関する方針、または著作権譲渡書の書き方が不十分で、実際に著作権が譲渡されていない )	545	5.1%
5	Access & Copyright	The journal publishes not in accordance with their copyright or does not operate under a copyright license. ( ジャーナルが著作権に則っていない、あるいは著作権ライセンスのもとで運営されていない出版物である )	177	1.6%
6	Business Practices	Email invitations for editorial board members or reviewers from the journal are received by researchers who are clearly not in the field the journal covers. ( ジャーナルから編集委員や査読者への招待メールが、明らかにそのジャーナルが扱う分野ではない研究者によって受信されている )	592	5.5%
7	Business Practices	Emails received from a journal do not include the option to unsubscribe to future emails. ( ジャーナルから受信したメールに、今後のメール配信を停止するオプションが含まれていない )	262	2.4%
8	Business Practices	Multiple emails received from a journal in a short amount of time. ( ジャーナルから短時間に何度もメールが届く )	1,035	9.6%
9	Business Practices	No subscribers / nobody uses the journal. ( 購読者がいない／誰もそのジャーナルを利用していない )	20	0.2%
10	Business Practices	The journal copyproofs and locks PDFs. ( ジャーナルが、PDFをコピー・ブルーフレッシュ、ロックしている )	34	0.3%
11	Business Practices	The journal has been asked to quit sending emails and has not stopped. ( メールの送信の停止を申し込んで、やめない )	123	1.1%
12	Business Practices	The journal or publisher gives a business address in a Western country but the majority of authors are based in developing countries. ( ジャーナルや出版社が欧米諸国ビジネスアドレスを提示しているが、著者の大半は発展途上国を拠点にしている )	307	2.9%
13	Business Practices	The journal's website does not allow web crawlers. ( ウェブサイトが、ウェブクローラーを許可していない )	18	0.2%
14	Fees	Surprise fees ( 料金設定が異常 )	879	8.2%
15	Fees	The author must pay APC or publication fee before submitting the article (specifically calls the fee a publication fee, not a submission fee). ( 論文を投稿する前にAPCまたは出版料金を支払わなければならない (特に投稿料金ではなく、出版料金と呼ぶ) )	7	0.1%
16	Fees	The journal does not indicate that there are any fees associated with publication, review, submission, etc. but the author is charged a fee after submitting a manuscript. ( 出版、査読、投稿などに関連する費用があることが掲示されておらず、原稿投稿後に費用を請求される )	1	0.0%
17	Fees	The journal offers options for researchers to prepay APCs for future articles. ( 研究者が将来の論文のAPCを前払いするオプションを提供している )	262	2.4%
18	Fees	The journal or publisher offers membership to receive discounts on APCs but does not give information on how to become a member and/or on the membership fees. ( APCの割引を受けるための会員制度を設けているが、会員になる方法や会費に関する情報は提供していない )	222	2.1%
19	Fees	The journal states there is an APC or another fee but does not give information on the amount or gives conflicting information. ( APCまたはその他の費用が発生すると述べているが、その金額に関する情報を与えていない、または矛盾する情報を与えている )	564	5.2%
20	Fees	The publisher or journal's website seems too focused on the payment of fees. ( 出版社やジャーナルのウェブサイトが、料金の支払いに焦点を当てすぎているように見える )	35	0.3%

表9: 判定基準ごとの違反件数 (v1.0, 2/3)

#	Kind	Description	Cnt	pct
21	Indexing & Metrics	The journal uses misleading metrics (i.e., metrics with the words impact factor that are not the Clarivate Analytics Impact Factor). (誤解を招くような指標を使用している(クラリベイト・アナリティクスのインパクトファクターではないインパクトファクターという言葉を使った指標など))	1,576	14.6%
22	Indexing & Metrics	The publisher or its journals are not listed in standard periodical directories or are not widely catalogued in library databases. (出版社またはそのジャーナルが、標準的な定期刊行物名簿に掲載されていない、または図書館のデータベースで広くカタログ化されていない)	713	6.6%
23	Integrity	Hijacked journal (defined as a fraudulent website created to look like a legitimate academic journal for the purpose of offering academics the opportunity to rapidly publish their research for a fee). (ハイジャックされたジャーナル(学術研究者に有利で研究を迅速に発表する機会を提供する目的で、正規のジャーナルのように見せかけた不正なウェブサイトと定義する))	5	0.0%
24	Integrity	Information received from the journal does not match the journal's website. (ジャーナルから受け取った情報が、そのジャーナルのウェブサイトと一致しない)	19	0.2%
25	Integrity	Insufficient resources are spent on preventing and eliminating author misconduct that may result in repeated cases of plagiarism, self-plagiarism, image manipulation, etc. (no policies regarding plagiarism, ethics, misconduct, etc., no use of plagiarism screens). (剽窃、自己剽窃、画像加工などを繰り返すような著者の不正行為を防止・排除するためのリソースが不十分である(剽窃、倫理、不正行為などに関するポリシーがない、剽窃防止スクリーンが使用されていない))	2,000	18.6%
26	Integrity	The journal gives a fake ISSN. (偽のISSNを付与している)	225	2.1%
27	Integrity	The journal is associated with a conference that has been identified as predatory. (プレダトリーであると指摘されているカンファレンスと関連している)	323	3.0%
28	Integrity	The journal or publisher claims to be a non-profit when it is actually a for-profit company. (ジャーナルや出版社が、実際には営利企業であるにもかかわらず、非営利団体であると主張している)	77	0.7%
29	Integrity	The journal uses language that suggests that it is industry leading, but is in fact a new journal. (業界をリードするジャーナルであるかのような表現が使われているが、実際は新しいジャーナルである)	181	1.7%
30	Integrity	The name of the journal references a country or demographic that does not relate to the content or origin of the journal. (ジャーナルの名称が、ジャーナルの内容や起源とは関係のない国や人口統計に言及している)	958	8.9%
31	Integrity	The owner/Editor of the journal or publisher falsely claims academic positions or qualifications. (ジャーナルのオーナー／エディターや出版社が、学術的地位や資格を偽って主張している)	157	1.5%
32	Integrity	The publisher hides or obscures relationships with for-profit partner companies. (出版社が営利目的のパートナー企業との関係を隠したり、あいまいにしている)	2,284	21.2%
33	Integrity	The same article appears in more than one journal. (同じ論文が複数のジャーナルに掲載されている)	675	6.3%
34	Integrity	The title of the journal is copied or so similar to that of a legitimate journal that it could cause confusion between the two. (ジャーナルのタイトルが、正規のジャーナルのタイトルをコピーしたものであったり、非常に類似しているため、両者を混同させる可能性がある)	22	0.2%
35	Peer Review	Editors do not actually exist or are deceased. (編集者が実在しないか、故人である)	122	1.1%
36	Peer Review	Evident data showing that the editor/review board members do not possess academic expertise to reasonably qualify them to be publication gatekeepers in the journal's field. (編集者や審査委員が、そのジャーナル分野の出版ゲートキーパーとして合理的に適格な学術的専門知識を有していないことを示す明白なデータがある場合)	165	1.5%
37	Peer Review	Inadequate peer review (i.e., a single reader reviews submissions; peer reviewers read papers outside their field of study; etc.). (査読が不十分(一人の読者が投稿論文を査読している、査読者が自分の専門外の論文を読んでいる、など))	12	0.1%
38	Peer Review	Little geographical diversity of board members and the journal claims to be International. (国際誌を標榜しているにもかかわらず、委員の地理的な多様性が乏しい)	810	7.5%
39	Peer Review	No editor or editorial board listed on the journal's website at all. (ジャーナルのウェブサイトに編集者や編集委員会のリストが全くない)	5,541	51.5%
40	Peer Review	The founder of the publishing company is the editor of all of the journals published by said company. (出版社の創設者が、その出版社が発行するすべてのジャーナルの編集者である)	501	4.7%
41	Peer Review	The journal includes board members who are prominent researchers but exempt them from any contribution to the journal except the use of their names and/or photographs. (ジャーナルの委員には著名な研究者が名を連ねているが、名前と写真の使用以外、このジャーナルへの貢献は一切免除されている)	416	3.9%

表 10: 判定基準ごとの違反件数 (v1.0, 3/3)

#	Kind	Description	Cnt	pct
42	Peer Review	The journal includes scholars on an editorial board without their knowledge or permission. ( 研究者本人の知らないところで、あるいは許可なく、編集委員会に加わっている )	70	0.7%
43	Peer Review	The journal's website does not have a clearly stated peer review policy. ( ジャーナルのウェブサイトに査読方針が明確に記載されていない )	6,208	57.7%
44	Publication Practices	Authors are published several times in the same journal and/or issue. ( 同じジャーナルや号で同じ著者の論文が何度も出版されている )	960	8.9%
45	Publication Practices	Falsely claims indexing in well-known databases (especially SCOPUS, DOAJ, JCR, and Cabells). ( 著名なデータベース (特にSCOPUS, DOAJ, JCR, Cabells) への収載を偽って主張する )	1,254	11.6%
46	Publication Practices	Falsely claims universities or other organizations as partners or sponsors. ( 大学やその他の団体をパートナーやスポンサーと偽っている )	31	0.3%
47	Publication Practices	Little geographical diversity of authors and the journal claims to be International. ( 著者の地理的な多様性が低く、国際的なジャーナルであると主張する )	192	1.8%
48	Publication Practices	Machine-generated or other sting abstracts or papers are accepted. ( 機械で生成された、あるいはその他の固のアブストラクトや論文が受け入れられている )	25	0.2%
49	Publication Practices	No articles are published or the archives are missing issues and/or articles. ( 論文が掲載されていない、あるいはアーカイブに号や論文がない )	7,304	67.8%
50	Publication Practices	No copyediting. ( コピーエディットがない )	47	0.4%
51	Publication Practices	Similarly titled articles published by same author in more than one journal. ( 同じ著者による同じタイトルの論文が、複数のジャーナルに掲載されている )	17	0.2%
52	Publication Practices	The Editor publishes research in his own journal. ( 編集者が自分のジャーナルに研究を発表している )	46	0.4%
53	Publication Practices	The journal publishes papers presented at conferences without additional peer review. ( 学会で発表された論文を、追加の査読を経ずに掲載している )	32	0.3%
54	Publication Practices	The journal publishes papers that are not academic at all, e.g. essays by laypeople or obvious pseudo-science. ( 素人によるエッセイや明らかな疑似科学など、まったく学術的でない論文を掲載している )	32	0.3%
55	Publication Practices	The name of the publisher suggests that it is a society, academy, etc. when it is only a publisher and offers no real benefits to members. ( 出版社の名前が、学会やアカデミーなどであることを示唆しているが、単なる出版社であり、会員に何の実益も与えていない )	267	2.5%
56	Publication Practices	The name of the publisher suggests that it is a society, academy, etc. when it is only a solitary proprietary operation and does not meet the definition of the term used or implied non-profit mission. ( 出版社の名前が、学会やアカデミーなどであることを示唆しているが、その出版社は独自に独占的運営を行っているだけで、使われている用語の定義や暗黙のうちに示される非営利的な使命には合致していない )	107	1.0%
57	Publication Practices	The publisher displays prominent statements that promise rapid publication and/or unusually quick peer review (less than 4 weeks). ( 出版社が、迅速な出版や異常に速い査読 (4週間以内) を約束するような目立つ記述をする )	4,119	38.3%
58	Website	Dead links on the journal or publisher's website. ( ジャーナルや出版社のウェブサイトにデッドリンクがある )	1,107	10.3%
59	Website	No way to contact the journal/only has web-form. ( ジャーナルへの問い合わせ方法がない／ウェブフォームしかない )	1,889	17.5%
60	Website	Poor grammar and/or spelling on the journal or publisher's website. ( ジャーナルや出版社のウェブサイトの文法やスペルが稚拙 )	2,802	26.0%
61	Website	The journal or publisher uses a virtual office or other proxy business as its physical address. ( ジャーナルや出版社がバーチャル・オフィスやその他の代理ビジネスを物理的な住所として使用している )	1,523	14.1%
62	Website	The website does not identify a physical address for the publisher or gives a fake address. ( ウェブサイトが出版社の物理的な住所を特定しないか、偽の住所を掲載している )	5,495	51.0%
63	Website	The website does not identify a physical editorial address for the journal. ( ジャーナル編集部の物理的な住所がウェブサイト上で特定されていない )	4,664	43.3%

表 11: 判定基準ごとの違反件数 (v1.1, 1/4)

#	Kind	Description	Cnt	pct
1	Access & Copyright	No policies for digital preservation. ( デジタル保存のためのポリシーがない )	5,053	83.4%
2	Access & Copyright	No way to access articles (no information on open access or how to subscribe). ( 論文にアクセスする方法がない (オープンアクセスや購読方法に関する情報がない) )	23	0.4%
3	Access & Copyright	States the journal is completely open access but not all articles are openly available. ( 完全なオープンアクセスであることを明記しているが、すべての論文がオープンアクセスであるとは限らない )	102	1.7%
4	Access & Copyright	The journal has a poorly written copyright policy and/or transfer form that does not actually transfer copyright. ( 著作権に関する方針、または著作権譲渡書の書き方が不十分で、実際に著作権が譲渡されていない )	201	3.3%
5	Access & Copyright	The journal is open access but no information is given about how the journal is supported financially (i.e. author fees, advertising, sponsorship, etc.). ( オープンアクセスであるが、財政的な支援 (著者報酬、広告、スポンサーシップなど) がどのように行われているかについての情報がない )	362	6.0%
6	Access & Copyright	The journal publishes not in accordance with their copyright or does not operate under a copyright license. ( 著作権に従わない出版をしたり、著作権ライセンスのもとで運営されていない )	408	6.7%
7	Business Practices	Email invitations for editorial board members or reviewers from the journal are received by researchers who are clearly not in the field the journal covers. ( 明らかにそのジャーナルの分野外である研究者に編集委員や査読者への招待メールが送られている )	14	0.2%
8	Business Practices	Emailed solicitations for manuscripts from the journal are received by researchers who are clearly not in the field the journal covers. ( 明らかにそのジャーナルの分野外である研究者に原稿募集の電子メールが送られている )	60	1.0%
9	Business Practices	Emails received from a journal do not include the option to unsubscribe to future emails. ( ジャーナルから受信したメールに、今後のメール配信を停止するオプションがない )	99	1.6%
10	Business Practices	Multiple emails received from a journal in a short amount of time. ( ジャーナルから短時間に複数の電子メールを受信した )	2	0.0%
11	Business Practices	The journal copyproofs and locks PDFs. ( ジャーナルが、PDFをコピー・フルーフし、ロックしている )	16	0.3%
12	Business Practices	The journal has been asked to quit sending emails and has not stopped. ( ジャーナルは、Eメールの送信をやめるように要求されたことがあるが、やめない )	1	0.0%
13	Business Practices	The journal or publisher gives a business address in a Western country but the majority of authors are based in developing countries. ( ジャーナルや出版社が欧米のビジネスアドレスを提示しているが、著者の大半は発展途上国を拠点にしている )	410	6.8%
14	Business Practices	The journal's website does not allow web crawlers. ( ジャーナルのウェブサイトは、ウェブクローラーを許可していない )	12	0.2%
15	Fees	The author must pay APC or publication fee before submitting the article (specifically calls the fee a publication fee, not a submission fee). ( 著者は論文を投稿する前にAPCまたは出版料金を支払わなければならない (特に投稿料ではなく出版料と呼んでいる) )	3	0.0%
16	Fees	The journal does not indicate that there are any fees associated with publication, review, submission, etc. but the author is charged a fee after submitting a manuscript. ( 出版、査読、投稿などに関連する費用があることを示唆していないが、著者は原稿を投稿した後に費用を請求される )	1	0.0%
17	Fees	The journal offers options for researchers to prepay APCs for future articles. ( 研究者が将来の論文のAPCを前払いするオプションを提供している )	365	6.0%

表 12: 判定基準ごとの違反件数 (v1.1, 2/4)

#	Kind	Description	Cnt	pct
18	Fees	The journal or publisher offers membership to receive discounts on APCs but does not give information on how to become a member and/or on the membership fees. ( APCの割引を受けるための会員制度を設けているが、会員になる方法や会費に関する情報は提供していない )	147	2.4%
19	Fees	The journal states there is an APC or another fee but does not give information on the amount or gives conflicting information. ( APCまたはその他の費用が発生すると述べているが、その金額に関する情報を与えていない、または矛盾する情報を与えている )	797	13.1%
20	Fees	The publisher or journal's website seems too focused on the payment of fees. ( 出版社やジャーナルのウェブサイトが、料金の支払いに焦点を当てすぎているように見える )	870	14.4%
21	Indexing & Metrics	The journal uses misleading metrics (i.e., metrics with the words impact factor that are not the Clarivate Analytics Impact Factor). ( ジャーナルが誤解を招くような指標を使用している (クラリベイト・アナリティクスのインパクトファクターではないインパクトファクターという言葉を使った指標など) )	759	12.5%
22	Indexing & Metrics	The publisher or its journals are not listed in standard periodical directories or are not widely catalogued in library databases. ( 出版社またはそのジャーナルが、標準的な定期刊行物名簿に掲載されていない、または図書館のデータベースで広くカタログ化されていない )	216	3.6%
23	Integrity	Hijacked journal (defined as a fraudulent website created to look like a legitimate academic journal for the purpose of offering academics the opportunity to rapidly publish their research for a fee). ( ハイジャックされたジャーナル (学術関係者に有利で研究を迅速に発表する機会を提供する目的で、正規の学術誌のように見せかけた不正なウェブサイトと定義される) )	108	1.8%
24	Integrity	Insufficient resources are spent on preventing and eliminating author misconduct that may result in repeated cases of plagiarism, self-plagiarism, image manipulation, etc. (no policies regarding plagiarism, ethics, misconduct, etc., no use of plagiarism screens). ( 剥窃、自己剽窃、画像加工などを繰り返すような著者の不正行為を防止・排除するためのリソースが不十分である (剽窃、倫理、不正行為などに関するポリシーがない、剽窃防止スクリーンが使用されていない) )	1,276	21.1%
25	Integrity	The journal gives a fake ISSN. ( ISSNを偽っている )	141	2.3%
26	Integrity	The journal or publisher claims to be a non-profit when it is actually a for-profit company. ( ジャーナルまたは出版社が、実際には営利企業であるにもかかわらず、非営利団体であると主張している )	114	1.9%
27	Integrity	The journal uses language that suggests that it is industry leading, but is in fact a new journal. ( 業界をリードするジャーナルであるかのような表現を使っているが、実際は新しいジャーナルである )	96	1.6%
28	Integrity	The journal/publisher hides or obscures information regarding associated publishing imprints or parent companies. ( ジャーナルや出版社が、関連する出版社や親会社に関する情報を隠したり、不明瞭にしたりする )	115	1.9%
29	Integrity	The journal/publisher hides or obscures relationships with for-profit partner companies that could result in corporate manipulation of science. ( ジャーナル／出版社は、企業が科学を操作することになりかねない営利目的のパートナー企業との関係を隠したり、不明瞭にしたりしている )	2	0.0%
30	Integrity	The name of the journal references a country or demographic that does not relate to the content or origin of the journal. ( ジャーナルの名称が、その内容や起源に関係のない国やデモグラフィックを参照している )	109	1.8%
31	Integrity	The owner/Editor of the journal or publisher falsely claims academic positions or qualifications. ( ジャーナルの所有者／編集者あるいは出版社が、学術的な地位や資格を偽って主張している )	172	2.8%
32	Integrity	The same article appears in more than one journal. ( 同じ論文が複数のジャーナルに掲載されている )	183	3.0%
33	Integrity	The title of the journal is copied or so similar to that of a legitimate journal that it could cause confusion between the two. ( ジャーナルのタイトルが、正規のジャーナルのタイトルをコピーしたもの、または両者を混同させるほど類似している )	38	0.6%
34	Peer Review	Editorial board members (appointed over 2 years ago) have not heard from the journal at all since being appointed to the board. ( 編集委員に任命されて以来、そのジャーナルから全く (任命されてから2年以上) 連絡がない )	27	0.4%

表 13: 判定基準ごとの違反件数(v1.1, 3/4)

#	Kind	Description	Cnt	pct
35	Peer Review	Editors do not actually exist or are deceased. ( 編集者が実際には存在しないか、故人である )	63	1.0%
36	Peer Review	Evident data showing that the editor/review board members do not possess academic expertise to reasonably qualify them to be publication gatekeepers in the journal's field. ( 編集者／審査委員が、そのジャーナル分野の出版物のゲートキーパーとして合理的に適格な学術的専門知識を有していないことを示す明白なデータがある )	51	0.8%
37	Peer Review	Evident data that little to no peer review is being done and the journal claims to be peer reviewed. ( ジャーナルが査読付きであると主張しているにもかかわらず、査読がほとんど行われていないことを示す明白なデータがある )	1,058	17.5%
38	Peer Review	Inadequate peer review (i.e., a single reader reviews submissions; peer reviewers read papers outside their field of study; etc.). ( 不適切な査読 (例:一人の読者が投稿論文を審査している、査読者が自分の研究分野以外の論文を読んでいる、など) )	51	0.8%
39	Peer Review	Little geographical diversity of board members and the journal claims to be International. ( 国際誌を標榜しているのに、編集委員の地理的な多様性が乏しい )	602	9.9%
40	Peer Review	No affiliations are identified for editorial board members and/or editors. ( 編集委員会メンバーおよび/または編集者の所属先が特定されていない )	130	2.1%
41	Peer Review	No editor or editorial board listed on the journal's website at all. ( 編集者や編集委員会の名前がジャーナルのウェブサイトに全く記載されていない )	1,564	25.8%
42	Peer Review	The founder of the publishing company is the editor of all of the journals published by said company. ( 出版社の創設者が、その出版社が発行するすべてのジャーナルの編集者である )	33	0.5%
43	Peer Review	The journal has a large editorial board but very few articles are published per year. ( ジャーナルには大規模な編集委員会があるが、年間掲載される論文はごくわずかである )	1,323	21.8%
44	Peer Review	The journal includes board members who are prominent researchers but exempt them from any contribution to the journal except the use of their names and/or photographs. ( ジャーナルの編集委員には著名な研究者が名を連ねているが、名前と写真の使用以外、このジャーナルへの貢献は免除されている )	55	0.9%
45	Peer Review	The journal includes scholars on an editorial board without their knowledge or permission. ( 研究者本人が知らないうちに、あるいは許可なく、編集委員会に加わっている )	149	2.5%
46	Peer Review	The journal's website does not have a clearly stated peer review policy. ( ジャーナルのウェブサイトには、査読方針が明確に記載されていない )	2,694	44.4%
47	Publication Practices	Authors are published several times in the same journal and/or issue. ( 同じ著者の論文がジャーナルや号で何度も出版されている )	494	8.2%
48	Publication Practices	Falsely claims indexing in well-known databases (especially SCOPUS, DOAJ, JCR, and Cabells). ( 著名なデータベース (特にSCOPUS, DOAJ, JCR, Cabells) への収載を偽っている )	552	9.1%
49	Publication Practices	Falsely claims universities or other organizations as partners or sponsors. ( 大学やその他の団体をパートナーやスポンサーと偽っている )	10	0.2%
50	Publication Practices	Little geographical diversity of authors and the journal claims to be International. ( 著者の地理的多様性が低く、国際的なジャーナルと称している )	510	8.4%
51	Publication Practices	Machine-generated or other sting abstracts or papers are accepted. ( 機械で生成された、あるいはその他の因のアブストラクトや論文が受け入れられている )	13	0.2%

表 14: 判定基準ごとの違反件数 (v1.1, 4/4)

#	Kind	Description	Cnt	pct
52	Publication Practices	No articles are published or the archives are missing issues and/or articles. ( 論文が掲載されていない、あるいはアーカイブに号や論文がない )	2,948	48.6%
53	Publication Practices	No copyediting. ( コピーエディットがない )	358	5.9%
54	Publication Practices	Similarly titled articles published by same author in more than one journal. ( 同じ著者による同じタイトルの論文が、複数のジャーナルに掲載されている )	30	0.5%
55	Publication Practices	The Editor publishes research in his own journal. ( 編集者が自分のジャーナルに研究を発表している )	118	1.9%
56	Publication Practices	The journal publishes papers presented at conferences without additional peer review. ( 学会で発表された論文を、追加の査読を経ずに掲載している )	22	0.4%
57	Publication Practices	The journal publishes papers that are not academic at all, e.g. essays by laypeople or obvious pseudo-science. ( 素人によるエッセイや明らかな疑似科学など、まったく学術的でない論文を掲載している )	38	0.6%
58	Publication Practices	The journal purposefully publishes controversial articles in the interest of boosting citation count. ( 引用数を増やすために、議論を呼ぶような論文を意図的に掲載している )	2	0.0%
59	Publication Practices	The name of the publisher suggests that it is a society, academy, etc. when it is only a publisher and offers no real benefits to members. ( 出版社の名前が、学会やアカデミーなどであるかのように装っているが、単なる出版社であり、会員に何の実益ももらさない )	124	2.0%
60	Publication Practices	The name of the publisher suggests that it is a society, academy, etc. when it is only a solitary proprietary operation and does not meet the definition of the term used or implied non-profit mission. ( 出版社の名前が、学会、アカデミーなどであることを示唆しているが、その出版社は独自に独占的運営をしているだけで、使われている用語の定義や暗黙のうちに示される非営利的な使命には合致していない )	29	0.5%
61	Publication Practices	The number of articles published has increased by 25-49% in the last year. ( 出版された記事の数が、過去1年間で25~49%増加した )	12	0.2%
62	Publication Practices	The number of articles published has increased by 50-74% in the last year. ( 出版された記事の数が、過去1年間で50~74%増加した )	14	0.2%
63	Publication Practices	The number of articles published has increased by 75% or more in the last year. ( 出版された記事の数が、過去1年間で75%以上増加した )	141	2.3%
64	Publication Practices	The publisher displays prominent statements that promise rapid publication and/or unusually quick peer review (less than 4 weeks). ( 出版社が、迅速な出版や異例に早い査読(4週間以内)を約束するような文言を自立つように表示している。 )	1,835	30.3%
65	Website	Dead links on the journal or publisher's website. ( ジャーナルや出版社のウェブサイトにデッドリンクがある )	1,240	20.5%
66	Website	No way to contact the journal/only has web-form. ( ジャーナルへの問い合わせ方法がない/ウェブフォームしかない )	63	1.0%
67	Website	Poor grammar and/or spelling on the journal or publisher's website. ( ジャーナルや出版社のウェブサイトの文法やスペルが稚拙 )	2,636	43.5%
68	Website	The journal or publisher uses a virtual office or other proxy business as its physical address. ( ジャーナルや出版社がバーチャル・オフィスやその他の代理ビジネスを物理的な住所として使用している )	1,526	25.2%
69	Website	The journal's website attempts to download a virus or malware. ( ジャーナルのウェブサイトがウイルスやマルウェアのダウンロードを試みている )	12	0.2%
70	Website	The website does not identify a physical address for the publisher or gives a fake address. ( ウェブサイトに出版社の住所が明記されていない、または偽の住所が記載されている )	2,088	34.4%
71	Website	The website does not identify a physical editorial address for the journal. ( ウェブサイトに編集部の物理的な住所が記載されていない )	1,380	22.8%

表 15: 1 誌の判定における違反項目 (Violation) 件数の分布

V-Num	Count	pct	V-Num	Count	pct
1	50	0.3%	10	836	5.0%
2	424	2.5%	11	269	1.6%
3	858	5.1%	12	111	0.7%
4	2,005	11.9%	13	62	0.4%
5	2,635	15.7%	14	11	0.1%
6	2,667	15.8%	15	5	0.0%
7	4,440	26.4%	16	1	0.0%
8	1,321	7.8%	17	1	0.0%
9	1,133	6.7%			

表 16: 1 項目の違反でプレダトリー疑いと判定されている場合の理由内訳

Desc	Count
Integrity:::Hijacked journal (defined as a fraudulent website created to look like a legitimate academic journal for the purpose of offering academics the opportunity to rapidly publish their research for a fee). 公正性:::ハイジャックされたジャーナル（学術研究者に有料で研究を迅速に発表する機会を提供する目的で、正規の学術誌のように見せかけた詐欺的なウェブサイトと定義される）	30
Publication Practices:::No articles are published or the archives are missing issues and/or articles. 出版慣行:::論文が出版されていない、あるいはアーカイブに号や論文がない	13
Peer Review:::The journal includes scholars on an editorial board without their knowledge or permission. 査読:::学者が知らないうちに、あるいは許可なく編集委員会に加わっている	4
Peer Review:::No editor or editorial board listed on the journal's website at all. 査読:::ジャーナルのウェブサイトに編集者や編集委員会の記載が全くなない	2
Publication Practices:::Falsey claims indexing in well-known databases (especially SCOPUS, DOAJ, JCR, and Cabells). 出版慣行:::著名なデータベース（特にSCOPUS, DOAJ, JCR, Cabells）への収載を偽って主張する	1

**表 17:** 判定における違反項目 (Violation) 数の分布 (10% 以上の項目のみ抜粋)

Kind	Description	Total	(Pct)
Access & Copyright	No policies for digital preservation. ( デジタル保存のためのポリシーがない )	14,315	72.2%
Publication Practices	No articles are published or the archives are missing issues and/or articles. ( 論文が掲載されていない、またはアーカイブに号や論文がない )	10,252	51.7%
Peer Review	The journal's website does not have a clearly stated peer review policy. ( 雑誌のウェブサイトに査読方針が明記されていない )	8,902	44.9%
Website	The website does not identify a physical address for the publisher or gives a fake address. ( ウェブサイトに出版社の住所が明記されていない、または偽の住所が記載されている )	7,583	38.2%
Peer Review	No editor or editorial board listed on the journal's website at all. ( ウェブサイトに編集者や編集委員会の名前が全くない )	7,105	35.8%
Website	The website does not identify a physical editorial address for the journal. ( ウェブサイトに編集部の物理的な住所が記載されていない )	6,044	30.5%
Publication Practices	The publisher displays prominent statements that promise rapid publication and/or unusually quick peer review (less than 4 weeks). ( 出版社が、迅速な出版や異常に早い査読（4週間以内）を約束するような文言を目立つように表示している )	5,954	30.0%
Website	Poor grammar and/or spelling on the journal or publisher's website. ( ジャーナルや出版社のウェブサイトの文法やスペルが稚拙 )	5,438	27.4%
Integrity	Insufficient resources are spent on preventing and eliminating author misconduct that may result in repeated cases of plagiarism, self-plagiarism, image manipulation, etc. (no policies regarding plagiarism, ethics, misconduct, etc., no use of plagiarism screens). ( 剥窃、自己剽窃、画像加工などを繰り返す原因となる著者の不正行為の防止と排除に十分な資源が使われていない（剽窃、倫理、不正行為などに関する方針がない、剽窃防止スクリーンが使用されていない） )	3,276	16.5%
Website	The journal or publisher uses a virtual office or other proxy business as its physical address. ( ジャーナルまたは出版社が、バーチャルオフィスやその他の代理事業を物理的な住所として使用している )	3,049	15.4%
Website	Dead links on the journal or publisher's website. ( ジャーナルまたは出版社のウェブサイトにデッドリンクがある )	2,347	11.8%
Indexing & Metrics	The journal uses misleading metrics (i.e., metrics with the words impact factor that are not the Clarivate Analytics Impact Factor). ( ジャーナルが誤解を招くような指標を使用している（クラリベイト・アナリティクスのインパクトファクターではないインパクトファクターという言葉を使った指標など） )	2,335	11.8%
Integrity	The publisher hides or obscures relationships with for-profit partner companies. ( 出版社が営利目的のパートナー企業との関係を隠したり、あいまいにしている )	2,284	11.5%

## 4 まとめ

本稿では近年問題となっているプレダトリージャーナル（悪徳雑誌、粗悪学術誌、ハゲタカジャーナルとも称される）について、分布と共に、これが一般にどのような理由でプレダトリーワークと判定されているかについて、商用のプレダトリージャーナルデータベースを用いて調査した。

結果として、1. まず出版社とジャーナルの数はいわゆるべき分布に相当するような形を描いており、多数のジャーナルを有するごく少数の出版社と1誌から10誌程度しか有さない多数の出版社があること、2. ジャーナルはその性質からしてその多く（約1.7万誌のうち約98%）がオープンアクセスであること、3. 判定基準のうちトップ3は、「デジタル保存のためのポリシーがない（全誌のうち72%が該当）」、「論文が掲載されていない、またはアーカイブに号や論文がない（52%が該当）」、「ジャーナルのウェブサイトに査読方針が明記されていない（45%が該当）」であること、4. ジャーナルは特定分野に集中しているわけではなく多くの分野に広がっていること、などが分かった。他方で、商用データベースであっても、分野の区分け粒度には一貫性が見られず、誤字脱字も多く、判定基準も同じものが複数回記載されているなど、外形的な面に限定しても杜撰さがみられた。

プレダトリージャーナルは定義の難しい概念であり、プレダトリージャーナルのデータベースを商用で提供している企業においても、その評価、判定に苦労している様子がうかがえる。また、競合が存在しない環境もあいまって、データベースの品質を確認することの難しさが確認された。

研究評価において論文成果が重視される状況にあって、プレダトリージャーナルが与える影響は大きく、判別のための観点は参考になるものの、評価の透明性を含め今後より一層の充実が望まれる。

### 4.1 留意事項等

本調査では特定の商用データベースについて調査を行っているが、本稿の内容はこのデータベースの利用を推奨・抑止するものではない。

研究評価において論文成果が重視される状況にあって、プレダトリージャーナルが与える影響は大きく、データベースは判別の観点を中心として参考になる。

他方で、現状においては商用サービスを提供するのは1社のみであり、評価をはじめ競争原理が働かない構造にある。本稿はこうした観点からの評価という側面も有する。

また、種々の課題はあるものの、プレダトリージャーナルについて組織的・体系的にまとまった、大規模なデータベースであることに間違いない、これを調査することでプレダトリージャーナルと疑われるものに関する現状の実態を把握することができた。

ただし、特定の商用サービスが独自に設定した評価・判定体系による実態を得たのであって、この正当性や妥当性、プレダトリージャーナル一般への適用可能性等については別途の議論が必要である。

## 参考文献

- [Arthur07] Arthur, David., et.al. K-Means++: The Advantages of Careful Seeding, *Proceedings of the Eighteenth Annual ACM-SIAM Symposium on Discrete Algorithms*, 1027–1035, 2007. DOI: <https://dl.acm.org/doi/10.5555/1283383.1283494>
- [Bisaccio18] Bisaccio, Michael. Cabells' Journal Whitelist and Blacklist: Intelligent data for informed journal evaluations, *Learned Publishing*, 31(3), 243-248, 2018. DOI: <https://doi.org/10.1002/leap.1164>
- [Dony20] Dony, Christophe., et.al. How reliable and useful is Cabell's Blacklist ? A data-driven analysis, *LIBER Quarterly: The Journal of the Association of European Research Libraries*, 30(1), 1–38, 2020. DOI: <https://doi.org/10.18352/lq.10339>
- [Ide21] 井出和希, 林和弘. オープンアクセス型学術誌の進展により顕在化する「Predatory Journal」問題-実態、動向、判断の観点-, *STI Horizon*, 8(2), 38-43. 2021. DOI: <https://doi.org/10.15108/stih.00299>

## Acknowledgement

英文要旨の作成にあたって、ホーク・フィリップ氏（静岡県立大学）にご助力いただいた。記して感謝する。

## 付録 A 判定理由の分析

判定における違反項目 (Violation) は 1 誌に複数割り付けることができる。「判定理由が n 個を超えるとプレダトリージャーナルであることを疑う」というような単純なものではないが、特定の判定理由が付いていると判定されやすい、特定の判定理由は他の多くの判定理由とセットでなければ出てこないなど、判定理由にも特性がある可能性は十分にあり得る。

### A.1 決定力

そこで仮に、判定理由の総和がプレダトリー度を表すとし、更に、各ジャーナルのプレダトリー度を 1.0 とする。任意のジャーナルにおいて、各判定理由がプレダトリー度に及ぼす力は均等であるとし、それらがゼロではなかったものの平均をとると、各判定理由がプレダトリー度に及ぼす平均的な影響、すなわち決定力 (Power; pow) を表せる可能性がある。

例えば、今ジャーナルが X と Y の 2 誌、判定理由が A, B, C の 3 種類あるとする。このときの決定力を模式すると図 3 の様になる。

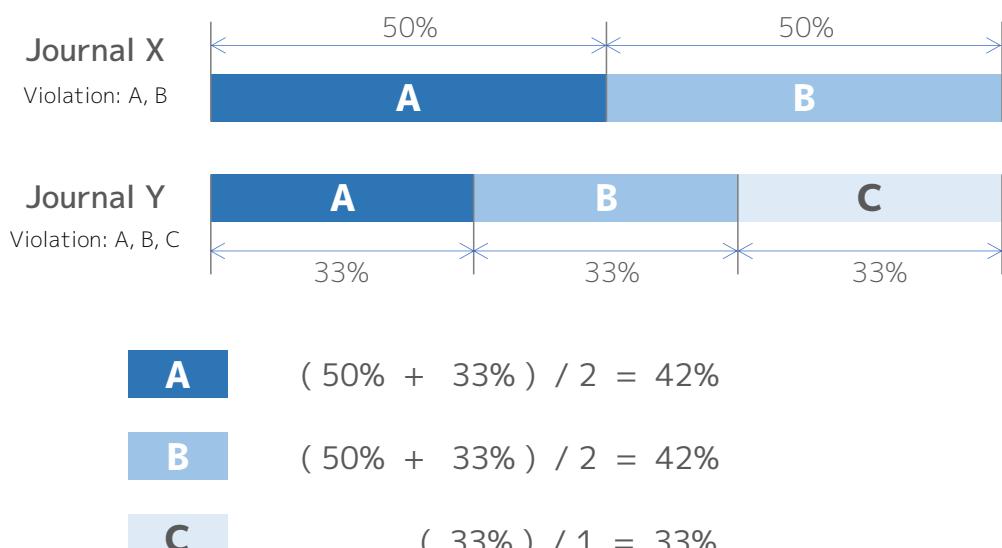


図 3: 決定力の考え方

この考え方に基づき、Criteria v1.1 準拠の 6,061 件分について決定力の算出を試みた。結果を表 18 から表 21 にまとめた。

これをみると、例えば「No policies for digital preservation.」は 5,053 誌、全体の 83.4% に登場する最頻出の理由である。しかしながら、それ故に決定力は低く 18.2% にとどまる。他方、「Hijacked journal.」は 108 誌、全体の 1.8% にしか出てこないが決定力は「No policies for digital preservation.」の倍以上、37.2% である。本文中でもすでに一部記載しているほか、決定力の考え方にもよるが、「Hijacked journal.」であるということはプレダトリージャーナルである可能性に関する強いシグナルである。

「The journal's website attempts to download a virus or malware.」「The journal/publisher hides or

obscures information regarding associated publishing imprints or parent companies.」などは、Web サイトの説明上は Minor な判定理由とされているが、決定力は相対的には強い。

表 18: 判定基準ごとの違反件数と決定力 (v1.1, 1/4)

#	Strength	Kind	Description	Cnt	pct	Pow
23	Severe	Integrity	Hijacked journal (defined as a fraudulent website created to look like a legitimate academic journal for the purpose of offering academics the opportunity to rapidly publish their research for a fee). ( ハイジャックされたジャーナル (学術関係者に有料で研究を迅速に発表する機会を提供する目的で、正規のジャーナルのように見せかけた不正なウェブサイトと定義される) )	108	1.8%	37.2%
48	Severe	Publication Practices	Falsey claims indexing in well-known databases (especially SCOPUS, DOAJ, JCR, and Cabells). ( 著名なデータベース (特にSCOPUS, DOAJ, JCR, Cabells) への収載を偽っている )	552	9.1%	25.7%
14	Minor	Business Practices	The journal's website does not allow web crawlers. ( ジャーナルのウェブサイトは、ウェブクローラーを許可していない )	12	0.2%	22.6%
69	Minor	Website	The journal's website attempts to download a virus or malware. ( ジャーナルのウェブサイトがウイルスやマルウェアのダウンロードを試みている )	12	0.2%	22.5%
28	Minor	Integrity	The journal/publisher hides or obscures information regarding associated publishing imprints or parent companies. ( ジャーナルや出版社が、関連する出版社や親会社に関する情報を隠したり、不明瞭にしたりする )	115	1.9%	20.7%
47	Moderate	Publication Practices	Authors are published several times in the same journal and/or issue. ( 同じジャーナルや号で同じ著者の論文が何度も出版されている )	494	8.2%	20.7%
64	Moderate	Publication Practices	The publisher displays prominent statements that promise rapid publication and/or unusually quick peer review (less than 4 weeks). ( 出版社が、迅速な出版や異例に早い査読 (4週間以内) を約束するような文言を目立つように表示している。 )	1,835	30.3%	20.7%
68	Minor	Website	The journal or publisher uses a virtual office or other proxy business as its physical address. ( ジャーナルや出版社がバーチャル・オフィスやその他の代理ビジネスを物理的な住所として使用している )	1,526	25.2%	20.4%
12	Moderate	Business Practices	The journal has been asked to quit sending emails and has not stopped. ( ジャーナルは、Eメールの送信をやめるように要求されたことがあるが、やめない )	1	0.0%	20.0%
31	Severe	Integrity	The owner/Editor of the journal or publisher falsely claims academic positions or qualifications. ( ジャーナルの所有者／編集者あるいは出版社が、学術的な地位や資格を偽って主張している )	172	2.8%	19.4%
37	Severe	Peer Review	Evident data that little to no peer review is being done and the journal claims to be peer reviewed. ( ジャーナルが査読付きであると主張しているにもかかわらず、査読がほとんど行われていないことを示す明白なデータがある )	1,058	17.5%	19.2%
9	Moderate	Business Practices	Emails received from a journal do not include the option to unsubscribe to future emails. ( ジャーナルから受信したメールに、今後のメール配信を停止するオプションがない )	99	1.6%	19.1%
8	Moderate	Business Practices	Emailed solicitations for manuscripts from the journal are received by researchers who are clearly not in the field the journal covers. ( 明らかにそのジャーナルの分野外である研究者にジ原稿募集の電子メールが送られている )	60	1.0%	18.4%
62	Moderate	Publication Practices	The number of articles published has increased by 50~74% in the last year. ( 出版された記事の数が、過去1年間で50~74%増加した )	14	0.2%	18.4%
1	Moderate	Access & Copyright	No policies for digital preservation. ( デジタル保存のためのポリシーがない )	5,053	83.4%	18.2%
19	Severe	Fees	The journal states there is an APC or another fee but does not give information on the amount or gives conflicting information. ( APCまたはその他の費用が発生すると述べているが、その金額に関する情報を与えていない、または矛盾する情報を与えている )	797	13.1%	17.6%
21	Severe	Indexing & Metrics	The journal uses misleading metrics (i.e., metrics with the words impact factor that are not the Clarivate Analytics Impact Factor). ( ジャーナルが誤解を招くような指標を使用している (クラリベイト・アナリティクスのインパクトファクターではないインパクトファクターという言葉を使った指標など) )	759	12.5%	17.6%
39	Moderate	Peer Review	Little geographical diversity of board members and the journal claims to be International. ( 国際誌を標榜しているのに、編集委員の地理的な多様性が乏しい )	602	9.9%	17.5%

### A.1.1 留意事項

なお、この決定力の考え方には種々の問題もある。

表 19: 判定基準ごとの違反件数と決定力 (v1.1, 2/4)

#	Strength	Kind	Description	Cnt	pct	Pow
43	Moderate	Peer Review	The journal has a large editorial board but very few articles are published per year. ( ジャーナルには大規模な編集委員会があるが、年間掲載される論文はごくわずかである )	1,323	21.8%	17.5%
52	Severe	Publication Practices	No articles are published or the archives are missing issues and/or articles. ( 論文が掲載されていない、あるいはアーカイブに号や論文がない )	2,948	48.6%	17.5%
32	Severe	Integrity	The same article appears in more than one journal. ( 同じ論文が複数のジャーナルに掲載されている )	183	3.0%	17.4%
55	Moderate	Publication Practices	The Editor publishes research in his own journal. ( 編集者が自分のジャーナルに研究を発表している )	118	1.9%	17.4%
57	Severe	Publication Practices	The journal publishes papers that are not academic at all, e.g. essays by laypeople or obvious pseudo-science. ( 素人によるエッセイや明らかな疑似科学など、まったく学術的でない論文を掲載している )	38	0.6%	17.4%
18	Severe	Fees	The journal or publisher offers membership to receive discounts on APCs but does not give information on how to become a member and/or on the membership fees. ( APCの割引を受けるための会員制度を設けているが、会員になる方法や会費に関する情報は提供していない )	147	2.4%	17.3%
58	Moderate	Publication Practices	The journal purposefully publishes controversial articles in the interest of boosting citation count. ( 引用数を増やすために、議論を呼ぶような論文を意図的に掲載している )	2	0.0%	17.1%
11	Moderate	Business Practices	The journal copyproofs and locks PDFs. ( ジャーナルが、PDFをコピー・ブルーフレッシュ、ロックしている )	16	0.3%	17.0%
35	Severe	Peer Review	Editors do not actually exist or are deceased. ( 編集者が実際には存在しないか、故人である )	63	1.0%	16.8%
10	Moderate	Business Practices	Multiple emails received from a journal in a short amount of time. ( ジャーナルから短時間に複数の電子メールを受信した )	2	0.0%	16.7%
16	Severe	Fees	The journal does not indicate that there are any fees associated with publication, review, submission, etc. but the author is charged a fee after submitting a manuscript. ( 出版、査読、投稿などに関連する費用があることを示唆していないが、著者は原稿を投稿した後に費用を請求される )	1	0.0%	16.7%
50	Moderate	Publication Practices	Little geographical diversity of authors and the journal claims to be International. ( 著者の地理的多様性が低く、国際的なジャーナルと称している )	510	8.4%	16.7%
63	Moderate	Publication Practices	The number of articles published has increased by 75% or more in the last year. ( 出版された記事の数が、過去1年間で75%以上増加した )	141	2.3%	16.5%
61	Minor	Publication Practices	The number of articles published has increased by 25-49% in the last year. ( 出版された記事の数が、過去1年間で25~49%増加した )	12	0.2%	16.4%
29	Moderate	Integrity	The journal/publisher hides or obscures relationships with for-profit partner companies that could result in corporate manipulation of science. ( ジャーナル／出版社は、企業が科学を操作することになりかねない営利目的のパートナー企業との関係を隠したり、不明瞭にしたりしている )	2	0.0%	16.3%
56	Moderate	Publication Practices	The journal publishes papers presented at conferences without additional peer review. ( 学会で発表された論文を、追加の査読を経ずに掲載している )	22	0.4%	16.3%
5	Moderate	Access & Copyright	The journal is open access but no information is given about how the journal is supported financially ( i.e. author fees, advertising, sponsorship, etc.). ( オープンアクセスであるが、財政的な支援（著者報酬、広告、スポンサーシップなど）がどのように行われているかについての情報がない )	362	6.0%	16.2%

すでに述べたとおり、単純に n 個以上に該当したからプレダトリーであるというように判定するようなものではない。当該サービスでは判定理由ごとに特定の点数を割り振り、その合計スコアが 100 を越えるとデータベースに収載しているとされる [Bisaccio18]。点数には大まかに 4 つのカテゴリがあり、表 18 から表 21 の「Strength」がそのカテゴリを表している。したがって、全てに均等な重みを与える本稿の考え方とは異なりがある。また、「合計スコアが 100 を越える」と収載判定されるということで、これは下限値・閾値を示しているのであり、ジャーナルごとにプレダトリー度は異なること

表 20: 判定基準ごとの違反件数と決定力 (v1.1, 3/4)

#	Strength	Kind	Description	Cnt	pct	Pow
51	Severe	Publication Practices	Machine-generated or other sting abstracts or papers are accepted. ( 機械で生成された、あるいは他の図のアブストラクトや論文が受け入れられている )	13	0.2%	16.1%
3	Moderate	Access & Copyright	States the journal is completely open access but not all articles are openly available. ( 完全なオープンアクセスであることを明記しているが、すべての論文がオープンアクセスであるとは限らない )	102	1.7%	15.9%
6	Moderate	Access & Copyright	The journal publishes not in accordance with their copyright or does not operate under a copyright license. ( 著作権に従わない出版をしたり、著作権ライセンスのもとで運営されていない )	408	6.7%	15.9%
33	Moderate	Integrity	The title of the journal is copied or so similar to that of a legitimate journal that it could cause confusion between the two. ( ジャーナルのタイトルが、正規のジャーナルのタイトルをコピーしたもの、または両者を混同させるほど類似している )	38	0.6%	15.9%
40	Moderate	Peer Review	No affiliations are identified for editorial board members and/or editors. ( 編集委員会メンバーおよび/または編集者の所属先が特定されていない )	130	2.1%	15.8%
46	Moderate	Peer Review	The journal's website does not have a clearly stated peer review policy. ( ジャーナルのウェブサイトには、査読方針が明確に記載されていない )	2,694	44.4%	15.8%
41	Severe	Peer Review	No editor or editorial board listed on the journal's website at all. ( 編集者や編集委員会の名前がジャーナルのウェブサイトに全く記載されていない )	1,564	25.8%	15.6%
45	Severe	Peer Review	The journal includes scholars on an editorial board without their knowledge or permission. ( 研究者本人が知らないうちに、あるいは許可なく、編集委員会に加わっている )	149	2.5%	15.5%
7	Moderate	Business Practices	Email invitations for editorial board members or reviewers from the journal are received by researchers who are clearly not in the field the journal covers. ( 明らかにそのジャーナルの分野外である研究者に編集委員や査読者としての招待メールが送られている )	14	0.2%	15.4%
13	Moderate	Business Practices	The journal or publisher gives a business address in a Western country but the majority of authors are based in developing countries. ( ジャーナルや出版社が欧米のビジネスアドレスを提示しているが、著者の大半は発展途上国を拠点にしている )	410	6.8%	15.4%
67	Minor	Website	Poor grammar and/or spelling on the journal or publisher's website. ( ジャーナルや出版社のウェブサイトの文法やスペルが稚拙 )	2,636	43.5%	15.2%
38	Moderate	Peer Review	Inadequate peer review (i.e., a single reader reviews submissions; peer reviewers read papers outside their field of study; etc.). ( 不適切な査読 (例:一人の読者が投稿論文を審査している、査読者が自分の研究分野以外の論文を読んでいる、など) )	51	0.8%	14.7%
54	Moderate	Publication Practices	Similarly titled articles published by same author in more than one journal. ( 同じ著者による同じタイトルの論文が、複数のジャーナルに掲載されている )	30	0.5%	14.7%
26	Severe	Integrity	The journal or publisher claims to be a non-profit when it is actually a for-profit company. ( ジャーナルまたは出版社が、実際には営利企業であるにもかかわらず、非営利団体であると主張している )	114	1.9%	14.6%
17	Severe	Fees	The journal offers options for researchers to prepay APCs for future articles. ( 研究者が将来の論文のAPCを前払いするオプションを提供している )	365	6.0%	14.5%
70	Minor	Website	The website does not identify a physical address for the publisher or gives a fake address. ( ウェブサイトが出版社の物理的な住所を特定しないか、偽の住所を提供している )	2,088	34.4%	14.3%
2	Moderate	Access & Copyright	No way to access articles (no information on open access or how to subscribe). ( 論文にアクセスする方法がない (オープンアクセスや購読方法に関する情報がない) )	23	0.4%	14.2%
15	Severe	Fees	The author must pay APC or publication fee before submitting the article (specifically calls the fee a publication fee, not a submission fee). ( 著者は論文を投稿する前にAPCまたは出版料を支払わなければならない (特に投稿料ではなく出版料と呼んでいる) )	3	0.0%	14.2%
20	Moderate	Fees	The publisher or journal's website seems too focused on the payment of fees. ( 出版社やジャーナルのウェブサイトが、料金の支払いに焦点を当てすぎているように見える )	870	14.4%	14.1%

が想定される。

今回は判定理由の根拠の強さ（決定力）を概算するために、簡略化した概念を導入して分析した。

表 21: 判定基準ごとの違反件数と決定力 (v1.1, 4/4)

#	Strength	Kind	Description	Cnt	pct	Pow
65	Minor	Website	Dead links on the journal or publisher's website. ( ジャーナルや出版社のウェブサイトにデッドリンクがある )	1,240	20.5%	13.9%
36	Moderate	Peer Review	Evident data showing that the editor/review board members do not possess academic expertise to reasonably qualify them to be publication gatekeepers in the journal's field. ( 編集者／審査委員が、そのジャーナル分野の出版物のゲートキーパーとして合理的に適格な学術的専門知識を有していないことを示す明白なデータがある )	51	0.8%	13.8%
30	Moderate	Integrity	The name of the journal references a country or demographic that does not relate to the content or origin of the journal. ( ジャーナルの名称が、その内容や起源に関係のない国や人口統計に言及している )	109	1.8%	13.6%
34	Moderate	Peer Review	Editorial board members (appointed over 2 years ago) have not heard from the journal at all since being appointed to the board. ( 編集委員に任命されて以来、そのジャーナルから全く(任命されてから2年以上)連絡がない )	27	0.4%	13.5%
44	Moderate	Peer Review	The journal includes board members who are prominent researchers but exempt them from any contribution to the journal except the use of their names and/or photographs. ( ジャーナルの編集委員には著名な研究者が名を連ねているが、名前と写真の使用以外、このジャーナルへの貢献は免除されている )	55	0.9%	13.5%
59	Moderate	Publication Practices	The name of the publisher suggests that it is a society, academy, etc. when it is only a publisher and offers no real benefits to members. ( 出版社の名前が、学会やアカデミーなどであるかのように装っているが、単なる出版社であり、会員に何の実益ももらさない )	124	2.0%	13.4%
25	Severe	Integrity	The journal gives a fake ISSN. ( ISSNを偽っている )	141	2.3%	13.3%
53	Moderate	Publication Practices	No copyediting. ( コピーエディットがない )	358	5.9%	13.3%
60	Moderate	Publication Practices	The name of the publisher suggests that it is a society, academy, etc. when it is only a solitary proprietary operation and does not meet the definition of the term used or implied non-profit mission. ( 出版社の名前が、学会、アカデミーなどであることを示唆しているが、その出版社は独自に独占的運営をしているだけで、使われている用語の定義や暗黙のうちに示される非営利的な使命には合致していない )	29	0.5%	12.6%
71	Minor	Website	The website does not identify a physical editorial address for the journal. ( ウェブサイトがジャーナルの編集部の物理的な住所を特定しない )	1,380	22.8%	12.5%
4	Moderate	Access & Copyright	The journal has a poorly written copyright policy and/or transfer form that does not actually transfer copyright. ( 著作権に関する方針、または著作権譲渡書の書き方が不十分で、実際に著作権が譲渡されていない )	201	3.3%	12.2%
24	Minor	Integrity	Insufficient resources are spent on preventing and eliminating author misconduct that may result in repeated cases of plagiarism, self-plagiarism, image manipulation, etc. (no policies regarding plagiarism, ethics, misconduct, etc., no use of plagiarism screens). ( 剥窃、自己剽窃、画像加工などを繰り返すような著者の不正行為を防止・排除するためのリソースが不十分である(剽窃、倫理、不正行為などに関するポリシーがない、剽窃防止スクリーンが使用されていない) )	1,276	21.1%	12.2%
42	Moderate	Peer Review	The founder of the publishing company is the editor of all of the journals published by said company. ( 出版社の創設者が、その出版社が発行するすべてのジャーナルの編集者である )	33	0.5%	12.1%
22	Minor	Indexing & Metrics	The publisher or its journals are not listed in standard periodical directories or are not widely catalogued in library databases. ( 出版社またはそのジャーナルが、標準的な定期刊行物名簿に掲載されていない、または図書館のデータベースで広くカタログ化されていない )	216	3.6%	12.0%
27	Moderate	Integrity	The journal uses language that suggests that it is industry leading, but is in fact a new journal. ( 業界をリードするジャーナルであるかのような表現を使っているが、実際は新しいジャーナルである )	96	1.6%	11.9%
49	Severe	Publication Practices	Falsely claims universities or other organizations as partners or sponsors. ( 大学やその他の団体をパートナーやスポンサーと偽っている )	10	0.2%	11.2%
66	Minor	Website	No way to contact the journal/only has web-form. ( ジャーナルへの問い合わせ方法がない／ウェブフォームしかない )	63	1.0%	9.7%

## A.2 共起関係

Criteria v1.1 に属するものについて共起パターンを抽出するため、それぞれが 0,1 の 2 値をとる判定理由のベクトルを生成し、K-means++[Arthur07] により 8 クラスタを抽出した。

表 22: 判定理由の共起分析

# Kind	Description	cnt	pct	c_01	c_02	c_03	c_04	c_05	c_06	c_07	c_08
				(807)	(644)	(746)	(531)	(972)	(600)	(1058)	(703)
1 Access & Copyright	No policies for digital preservation.	5,053	83.4%	13.9%	11.2%	10.4%	10.5%	17.7%	9.5%	14.8%	11.9%
52 Publication Practices	No articles are published or the archives are missing issues and/or articles.	2,948	48.6%	18.3%	15.7%	3.3%	18.0%	14.1%	13.0%	5.0%	12.7%
46 Peer Review	The journal's website does not have a clearly stated peer review policy.	2,694	44.4%	17.1%	0.0%	1.9%	19.7%	36.1%	21.5%	0.6%	3.2%
67 Website	Poor grammar and/or spelling on the journal or publisher's website.	2,636	43.5%	9.3%	1.3%	18.8%	19.9%	14.5%	14.7%	4.5%	17.0%
70 Website	The website does not identify a physical address for the publisher or gives a fake	2,088	34.4%	0.5%	8.1%	0.0%	25.4%	2.6%	28.7%	2.4%	32.3%
64 Publication Practices	The publisher displays prominent statements that promise rapid publication and/or	1,835	30.3%	6.4%	6.7%	13.4%	0.1%	13.7%	2.6%	50.0%	7.1%
41 Peer Review	No editor or editorial board listed on the journal's website at all.	1,564	25.8%	12.5%	13.6%	2.6%	33.9%	9.1%	24.7%	3.3%	0.3%
68 Website	The journal or publisher uses a virtual office or other proxy business as its	1,526	25.2%	52.4%	0.0%	42.2%	0.0%	0.9%	0.0%	2.2%	2.2%
71 Website	The website does not identify a physical editorial address for the journal.	1,380	22.8%	0.0%	1.7%	0.0%	37.9%	0.1%	42.9%	2.3%	15.0%
43 Peer Review	The journal has a large editorial board but very few articles are published per year.	1,323	21.8%	6.8%	4.8%	21.0%	0.0%	12.4%	5.0%	20.7%	29.3%
24 Integrity	Insufficient resources are spent on preventing and eliminating author misconduct	1,276	21.1%	6.8%	8.4%	2.0%	41.5%	17.6%	12.5%	4.0%	7.1%
65 Website	Dead links on the journal or publisher's website.	1,240	20.5%	6.3%	11.6%	5.0%	37.7%	16.2%	5.2%	5.5%	12.5%
37 Peer Review	Evident data that little to no peer review is being done and the journal claims to be	1,058	17.5%	5.6%	3.4%	48.1%	0.0%	14.7%	0.9%	10.5%	16.8%
20 Fees	The publisher or journal's website seems too focused on the payment of fees.	870	14.4%	1.3%	4.0%	0.7%	60.0%	15.9%	0.0%	15.2%	3.0%
19 Fees	The journal states there is an APC or another fee but does not give information on	797	13.1%	48.8%	6.8%	9.8%	0.9%	2.6%	10.2%	3.4%	17.6%
21 Indexing & Metrics	The journal uses misleading metrics (i.e., metrics with the words impact factor that	759	12.5%	0.8%	3.3%	8.6%	0.1%	12.1%	0.4%	35.3%	39.4%

判定理由のうち、全体の 10% 以上のジャーナルに存在するものを対象として、クラスタの特徴を表 22 に示す。各クラスタに記載している割合は、判定理由ごとに、全体の何割がそのクラスタに所属しているかを示す。

例えば、A という判定理由について C\_01 に 60%, C\_02 に 30%, C\_03 に 10%, が割り振られていたとすると、A という理由が割り振られている論文のうち 6 割が C\_01 に入っていることになる。

表 22 をみると、C\_01 は #68, #19 の理由が多く固まっており、これらが共起しているパターンと言える。C\_01 に属するジャーナルは 807 誌存在する。

C\_04 は #20, #24, #71 などが共起するクラスタで、531 誌が所属する。

理由のうち #1 はどのクラスタにも同程度出現するため、クラスタの特徴を表す能力は低い。#52 は半数程度のジャーナルに割り付けられるが、C\_03, 07 にはほとんど出現していないなどの特徴が見られる。

調査資料-326

プレダトリージャーナル判定リストの実態調査

2023 年 3 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所  
データ解析政策研究室  
井出 和希, 林 和弘, 小柴 等

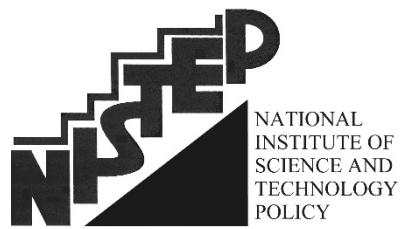
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-2 中央合同庁舎第 7 号館 東館 16 階  
TEL: 03-3581-2393

Fact-finding survey of predatory journal list

Mar. 2023

IDE Kazuki, HAYASHI Kazuhiro, KOSHIBA Hitoshi  
Research-Unit for Data Application  
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP)  
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), Japan

<https://doi.org/10.15108/rm326>



<https://www.nistep.go.jp>